

2/14

ひたまる先生ワークショップ ～ふれあい体験公開講座～

ひたまる先生ワークショップが、緒川総合センターで開催されました。

今回で2回目となるワークショップには、健康、教養、文化などの分野に登録している62人の先生のうち、30人の先生が一堂に会し、それぞれの講座を開講しました。

午前10時のオープン時には、すでに多くの市民が訪れ、普段体験できないロクロを回しての陶芸や、ウクレレ、きりえ、押し花などを体験。他にも美文字セミナー、遺産相続・遺言などの講話を受講していました。



またニュースポーツの講座も開設され、ユニカーやバグギーなどにチャレンジし、本番さながらの盛り上がりを見せていました。

会場に訪れた人からは「とても楽しかった」「次回も楽しみです」など、次の開催を期待する声がありました。



ひたまる先生とは…

長年の経験により体得した技術・技能や知識を持った市民を「ひたまる先生」として広く発掘・登録・活用。先生と市民が「いつでも・どこでも・だれとでも」をキャッチフレーズに市民と共に学習しているというものです。

健康・文化・生活・教養・福祉・国際交流の6分野に分かれ、現在62人がひたまる先生として登録されています。個人や団体でぜひご利用ください。

詳しくは市ホームページをご覧ください。

→<http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/page/page001110.html>

みんなで
学び合おうよ



■問い合わせ■ 市民協働課 市民協働グループ ☎52-1111（内線126）

常陸大宮市お宝発見事業（第4回・5回）

<第4回 1月23日>

御前山青少年旅行村で「塩田そばの会」指導のもと、33人が参加して、そば打ちに挑戦しました。

はじめに講師の実演を見学し、その後3～5人の班に分かれて体験しました。子どもたちは、同じ班の仲間やボランティアの茨城大学生や高校生会のメンバーと協力し、慣れない手つきながらもこねたり伸ばしたりして、最後に包丁で細く切って完成させました。

昼食に自分たちで打ったそばを食べた後、本市で生産されている常陸秋そばについての話を聞き、1日の体験を終えました。



参加者の声

- ・先生のように細く切れなかったけど、思ったよりうまくできた
- ・みんなで協力して作ったから美味しかった

<第5回 2月20日>

36人が参加し、美和高齢者コミュニティセンターで、こうぞの草木染めと紙漉き、漉き絵づくりを体験しました。

はじめに、草木染めの原理や歴史などについて話を聞いた後、玉ねぎや漆の木の皮を使って、和紙の原料であるこうぞを黄色やオレンジ色に染め、紙を漉きました。

さらに様々な色のこうぞで漉き絵を制作し、それぞれ自分の作品を完成させました。

参加者たちは、市の貴重な文化財である西の内紙や草木染めについて理解を深めました。



参加者の声

- ・昔の人は、こんな方法で服に色を付けていてすごいと思った
- ・実際に紙を漉いて絵を描くのが面白かった

2/12

友好の絆 「西の内紙」の卒業証書を贈呈

友好都市交流事業の一つとして、市の特産品である「西の内紙」で作成した卒業証書を、秋田県大館市立城南小学校へ寄贈しました。城南小学校とは「部垂町」の地名が縁で、以前から本市の小学校と交流を行っていました。

大館市役所で行われた贈呈式では、城南小学校の小井土校長に75人分の卒業証書を手渡しました。

綿引副市長は「これを機に、さらなる交流の輪がもっと深く、大きくなることを期待しています」と挨拶。小井土校長からは「大学の卒業証書よりも重みを感じる。児童にとって一生の宝になり、本当にありがたい」との感謝の言葉がありました。



▲贈呈式の様子



秋田犬もひたまるに興味深々▶

また次の日は、大館市で毎年行われているイベント「アメッコ市」で、ひたまるの絵柄が入った「特製・金太郎あめ」を配り、本市をPRしました。

アメッコ市は、「この日にアメを食べると風邪をひかない」と伝えられたことを起源とする民俗行事で、枝アメや細工アメなどの露店が立ち並び、多くの観光客でにぎわっていました。

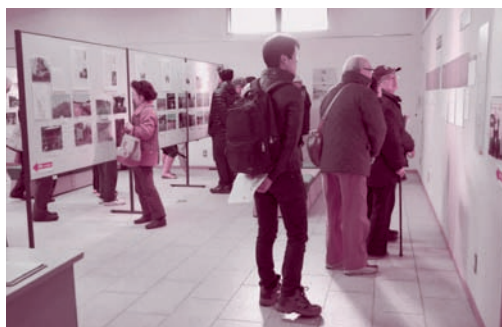
2/5~

友好都市締結記念 常陸の覇者「佐竹氏」展

秋田県大館市との友好都市協定締結を記念して、特別展「奥七郡から出発 常陸佐竹氏の軌跡」が、大宮ふれあいギャラリーで開催され、約600人が来場しました。

平安時代後期から、約500年もの間、茨城県北部に君臨した佐竹氏の常陸時代の動向を、茨城新聞に連載した富山章一氏（常陸佐竹研究会会長）の記事とパネルを中心に展示。茨城城郭研究会作成の佐竹氏関連城館資料、また歴史的交流のきっかけとなった吉田菜見ちゃんの「社会君のぼっけ」のレポート、甲神社に伝わる佐竹氏関連史料が公開されました。

他の関連事業として、7日に「今、なぜ佐竹氏なのか」、14日には「小場氏（佐竹西家）の成立について」、どちらも富山氏による講演会があり、100人を超える来場者がありました。そして14日の講演終了後には、茨城城郭研究会員による小場城跡見学会が行われ、参加した人たちは当時に思いをはせました。



▲特別展にはたくさんの人が訪れました



▲講演する富山章一氏

2/9

自治功労者表彰

青柳幸雄さん（長倉在住）が、県市長会長から民間自治功労者として表彰されました。

青柳さんは「長倉七夕まつり協賛会」会長として、長倉宿通りの商店街に七夕の飾りで地域のにぎわいを創出したり、伝統行事の存続に尽力したりしています。

毎年夏に開催される七夕の飾りコンクールの表彰式では、県知事や県議会議長など各界から賞が届くなど、市内外へのPRにも力を注ぎ、地域住民と連携し観光振興のため活躍しています。



▲受賞した青柳幸雄さん（右から2人目）

2/14

ミュージック・フェスティバル

市文化センターで、市内の中学校と高等学校の吹奏楽部生徒が一堂に会し、「第8回ミュージック・フェスティバル」が開催されました。

演奏会は3部構成で、各学校の特色ある演奏やアンサンブル、合同演奏が披露されました。

中学生や高校生による迫力ある演奏に、来場者からたくさんの拍手と温かい励ましの言葉が送られました。

合同演奏の動画は
こちら→

YouTube



ふるさと



マーチ
「ブルースカイ」



▲打楽器六重奏を披露する大宮中学校吹奏楽部

2/16、
23

大宮警察署長から感謝状

全国で多発するニセ電話詐欺の被害者を市内から一人も出さないために、市区長会（会長：坂井勇氏）と、市連合民生委員児童委員協議会（会長：梶文雄氏）が合同で、被害撲滅に向けた取り組みを昨年秋に実施しました。

取り組みでは、65歳以上の独り暮らしの家庭を訪問し、「風邪をひいて声がかかった」「必ずもうかる」など、ニセ電話詐欺の実例を挙げたチラシを配ったり、不審な電話がかかってきた場合には、警察署や市役所に電話をかけて相談するように声掛けを行いました。今回その功労が評価され、大宮警察署長から感謝状が贈られました。



▲感謝状を手にする坂井区長会長(左)と梶協議会長(右)

2/21

和太鼓フェスティバル

平成27年度市文化祭最後の催しとなる「第2回和太鼓フェスティバル」が、市文化センターで開催されました。

今回は、市文化協会に加盟している6つの団体と市内3つの保育園が参加し、野田和太鼓愛好会の「ぶち合わせ太鼓」でスタート。出演者の息の合った連打や力強いバチさばきに、会場からたくさんの拍手が上がっていました。

動画はこちら→

YouTube



合同演奏



やまがた御城太鼓の会



▲フィナーレの合同演奏

2/23

市教育振興大会

緒川総合センターで「常陸大宮市教育振興大会」が開催されました。この大会は、本市の教育の振興・発展に寄与された個人や団体に感謝状などを贈り、郷土を愛する心を育む郷育立市をさらに推進することを目的としています。

この日は、感謝状を2人・8団体、表彰状を81人・44団体に贈呈しました。

またアトラクションでは、御前山中学校1年の安藤菜捺美さんの作文発表や、緒川空手道スポーツ少年団による演武が披露されました。



▲受賞者を代表してお礼の言葉を述べる
大宮西小学校の星野都子先生

3/1

縮刷版を発行しました

広報常陸大宮の縮刷版を発行しました。

平成16年に合併して10年。市民の皆さんと市を結ぶ重要なパイプ役であり、その時代を反映した市の政策や催し、出来事が掲載されています。

また、懐かしいあの時やあの人、過ぎ去った日々の記憶が蘇ってくる貴重な記録です。

ぜひご購入ください。

- 価 格 1冊3,000円（税別）
- 規 格 A4サイズ、1,152ページ
- 内 容 1号（合併創刊号）～第126号
平成16年10月号～平成27年3月号
- 販売場所 秘書広聴課（本庁3階）、文書館



1/20

いばらき食育大会で表彰

緒川小学校では、日ごろの学校給食に対するマナーや衛生面、また食べることの大切さや楽しみ、栄養のバランスを意識させることなど、食育に関する取り組みが行われています。それに毎日の合同給食で、食をととしての異学年交流も行い、食への関心を高めて、残さず食べる習慣をつけています。

今回その取り組みが認められ、平成27年度いばらき食育推進大会で、茨城県学校給食振興期会長表彰を受賞しました。



▲3年生と5年生の合同給食の様子



1/20

7年連続体力づくり優秀賞受賞

大賀小学校では、体力づくりを積極的に推進しています。子どもたちには柔軟体操などの体育の宿題が毎日出されて、それを保護者が確認しています。これに運動量を確保した体育や休み時間を利用した自主的な体力づくりが加わり、さらなる向上につながっています。また年3回の体育集会を行い、その成果を全校児童の前で発表しています。

これらの取り組みも含め、児童の体力テストの結果が優れていることが認められ、県教育委員会が実施する「体力づくり優秀賞」を受賞しました。これは、7年連続の受賞です。



▲体育集会の様子

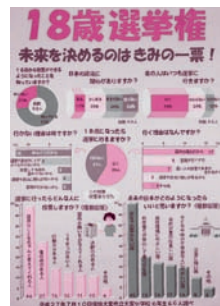
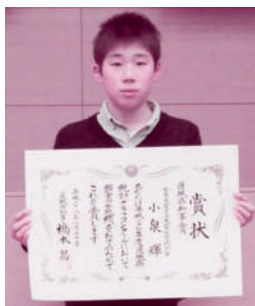


1/20

茨城県統計グラフコンクールで県知事賞

平成27年度茨城県統計グラフコンクールにおいて、大宮小学校6年の小泉輝さんが、茨城県知事賞を受賞しました。小泉さんの作品は、応募作品1,515点から選ばれました。

このコンクールは、統計知識の普及向上と、次代を担う児童・生徒を中心に、早い段階から統計に慣れ親しんでもらうため実施しているもので、今回で66回目になります。



VOL.21

職員のつぶやき ~職員リレートーク~

教育委員会の生涯学習課で、文化財を担当している中林香澄です。

私は信州出身ですが、大学で茨城に来て考古学を学び、在学中にいずみちゃん（写真）と出会い、めぐり巡って本市で働くことになりました。

現在は、いずみちゃんが出土した泉坂下遺跡の調査や、開発の際に遺跡が破壊されないようにするための試掘調査など、市内の文化財行政に関わる仕事をしています。

常陸大宮市4万年の歴史（推定）を彩る文化財の数々は、全国的に見ても珍しい宝物が盛りだくさんです。翡翠も瑪瑙も金山も、石器に土器に鉄器に青銅器まで、どの時代にも豊かな人々の痕跡が見られます。現在でも、古代から続く谷津田や、山城を中心とした中世の宿の名残が市内中にありますし、豪奢なつくりの古民家が山間のそこかしこにある光景は驚くばかりです。そんな宝の山に囲まれて、忙しくも楽しい毎日を送っています。



人面付土器のいずみちゃんと

*特別に許可を得て撮影しています